

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	383	同和行政事務管理経費	01	01	一般会計
			03	03	民生費
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	03	03	同和行政費
			01	01	同和行政総務費
担当部課名		青山支所 人権同和課	101	101	同和行政経費
作成者氏名	藤田 幸一	連絡先	52-3232	01	同和行政事務管理経費
			細目	01	

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	旧青山町内の歴史的社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域における65歳以上の住民、及び国民的課題としての部落解放を目指す団体	歴史的社会的理由により、生活環境等の安定向上が阻害されている地域住民の生活の安定と福祉の向上が図られる。
本年度事業内容	国民的課題としての部落解放を目指す団体の育成を図ることを目的に、その団体の運営活動に要する経費を助成する。 歴史的社会的理由により、生活環境等の安定向上が阻害されている地域住民の福祉向上を図ることを目的に、歳末慰问金を支給する。	
開始年度	平成 年度	終了年度
	平成 年度	根拠法令・要綱等
		伊賀市補助金等交付規則

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.6	0.3	0.6
	人件費合計(A)	4,320	2,160	4,320
②支出内訳(千円)	事業費(B)	724	398	388
	補助金	350	378	378
	その他	374	20	10
	合計(A+B)	5,044	2,558	4,708
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国庫支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源	5,044	2,558	4,708	
上記①～③に関する特記事項				
平成18年度は正規職員1名が育児休暇中				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
歳末慰问金 交付件数	件	23	23	23			
歳末慰问金 交付実績	円	150,000	150,000	150,000			
部落解放団体助成事業補助金 交付件数	件	1	1	1			
部落解放団体助成事業補助金 交付実績	円	200,000	200,000	200,000			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
地区住民の生活面の自立向上	今年度実施する生活実態調査による「地区住民の生活面の自立向上」率をもって設定する。	%	— 目標 ( )	—	—
被差別体験の有無	今年度実施する生活実態調査により、調査実施世帯数を分母とし、被差別体験を受けた、または出合ったことがあるとする世帯数を分子とする率をもって設定する。	%	— 目標 ( )	—	—

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

同和問題、部落解放を目指す団体の育成を図ることを目的に、活動に対する助成をしている。特別対策から一般対策に移行し、今後は自主活動ができるような支援を行う。

評価	必要性	4	部落解放を目指す団体が、各種研究大会等に参加し、部落解放の自立を目指す活動が図られた。今後も人権確立のため必要な施策である。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A